

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

PAT-NO: JP411216215A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11216215 A

TITLE: RAIN SHELTERING TOOL OF GOLF BAG AND GOLF CART  
USING  
SAME

PUBN-DATE: August 10, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YAMADA, KAZUO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KOZUKI COUNTRY CLUB:KK	N/A

APPL-NO: JP10034023

APPL-DATE: January 30, 1998

INT-CL (IPC): A63B055/08

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily put-in/out clubs or balls and to prevent a golf bag from getting wet with rain water or from being damaged at the time of putting-in/out the clubs or the balls.

SOLUTION: A golf cart is provided with a loading part 4 for loading golf bags 5 in the rear part of a seat part 3. A rain sheltering tool 10 is mounted on the loading part 4. The rain sheltering tool 10 is provided with a rain sheltering cover 20, a cover fixing member for fixing the end part of the rail sheltering cover 20 to the rear upper position of the seat part 3 and left and right cover support arms for supporting the rain sheltering cover 20 at the upper positions along the both side edges of the loading part 4. The rail

sheltering cover 20 is formed by successively bringing side surface sheets 32 and a rear surface seat 33 in contact with a ceiling sheet 30.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-216215

(43) 公開日 平成11年(1999)8月10日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

## 識別記号

F I  
A 63 B 55/08

7

審査請求 有 請求項の数 5 FD (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平10-34023

(22)出願日 平成10年(1998)1月30日

(71)出願人 598021306

株式会社上月カントリー倶楽部

大阪市中央区久太郎町 1 丁目 9 番 12 号

(72) 発明者 山田 一男

大阪市中央区久太郎町1丁目9番12号 株

### 内楽部 倉庫月上カントリー会社

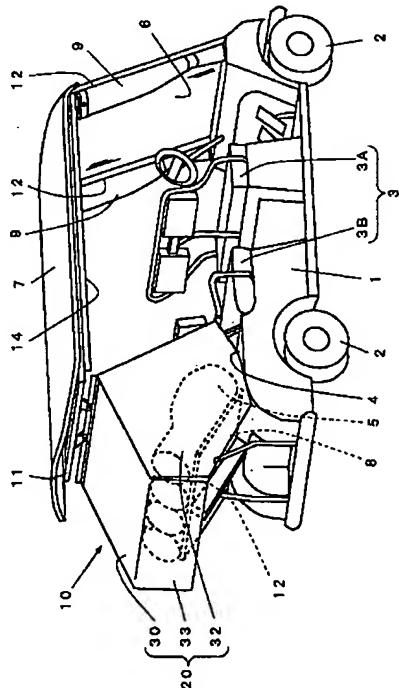
(74) 代理人 弁理士 鈴木 由充

(54) 【発明の名称】 ゴルフバッグの雨除け具およびその雨除け具が用いられたゴルフカート

(57) [要約]

【課題】 クラブやボールなどの出し入れが容易であり、またクラブやボールなどの出し入れに際して、ゴルフバッグを雨水で濡らしたり、傷つけたりすることがないようにする。

【解決手段】 ゴルフカートは、座席部3の後部にゴルフバッグ5の積載が可能な荷台部4が設けられる。荷台部4上には、雨除け具10が装備される。雨除け具10は、雨除けカバー20と、雨除けカバー20の端部を座席部3の後部の上方位置に固定するカバー固定部材と、雨除けカバー20を荷台部4の両側縁に沿う上方位置に支持する左右のカバー支持腕とを備える。雨除けカバー20は、天井シートに側面シートおよび後面シートが連接されて成る。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 乗降が可能な座席部とゴルフバッグの積載が可能な荷台部とを有するゴルフカートに用いられるゴルフバッグの雨除け具であって、

雨除けカバーと、この雨除けカバーの端部を前記座席部の後部の上方位置に固定するカバー固定部材と、前記荷台部の両側縁の上方に配置される左右のカバー支持腕とから成り、

前記雨除けカバーは、左右のカバー支持腕の間隔に相応する幅およびカバー支持腕の長さに相応する長さを有する天井シートに、少なくとも、荷台部上の左右両側面を覆う左右の側面シートと、荷台部の後方側を覆う後面シートとが、それぞれ連設されて成るゴルフバッグの雨除け具。

【請求項2】 雨除けカバーは、天井シートの上面に左右の側面シートと後面シートとが折り重ね可能に形成されると共に、天井シートと両側面シートと後面シートとが折り重ねられた状態で座席部の側へ巻き取り可能に構成されて成る請求項1に記載されたゴルフバッグの雨除け具。

【請求項3】 左右のカバー支持腕は、前記カバー固定部材に回動可能に支持されている請求項1に記載されたゴルフバッグの雨除け具。

【請求項4】 左右のカバー支持腕は、それぞれ支柱部材により支持されている請求項1または3に記載されたゴルフバッグの雨除け具。

【請求項5】 乗降が可能な座席部とゴルフバッグの積載が可能な荷台部とを有するゴルフカートであって、請求項1～4のいずれかに記載されたゴルフバッグの雨除け具が前記荷台部に設けられて成るゴルフカート。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、乗降が可能な座席部とゴルフバッグの積載が可能な荷台部とを有するゴルフカートに関する技術であり、特にこの発明は、荷台部に積載されたゴルフバッグが雨水で濡れるのを防止するためのゴルフバッグの雨除け具およびその雨除け具が用いられたゴルフカートに関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、多くのゴルフ場では、多数台のゴルフカートが用意してあり、各プレイヤーのゴルフバッグをゴルフカートに積載し、キャディまたはプレイヤーがゴルフカートを運転して各ホールを回るようになっている。典型的なゴルフカートは、人の乗降が可能な座席部の背後に、各プレイヤーのゴルフバッグが積載される荷台部が設けられた構造である。前記座席部は、前面にフロントパネルが、上方に屋根板が、それぞれ設けてある。

【0003】前記荷台部には、各プレイヤーのゴルフバッグを斜めに立てた状態で保持され、各プレイヤーは、

各自のゴルフバッグより必要なクラブを上方へ抜き出して使用し、使用後は、クラブをゴルフバッグ内へ上方から差し入れて収納する。

【0004】ところで、前記荷台部は、屋根がなく、開放された状態にあるため、ゴルフバッグは風雨に晒されることになる。そこでゴルフカートには、大きな透明のビニールシートが搭載してあり、降雨時にはこれを取り出し、ゴルフバッグに被せるようにしている。

【0005】ところが、この種のビニールシートは、取扱いににくいばかりでなく、風で吹き飛ばされるおそれがあるため、ベルトのような適当な手段で固定する必要があり、ビニールシートの装着作業が煩雑である。また使用後は、雨水に濡れたビニールシートを取り外して折り畳み、これをゴルフカートの適所に仕舞う必要があり、ビニールシートの取外および収納作業も煩雑である。

【0006】上記した作業の煩雑さを解消するために、近年、ゴルフカートの座席部の後部の上方位置に雨除けカバーを巻き取った状態で据え付けておき、降雨時には、雨除けカバーを展開して、荷台上的ゴルフバッグに被せるようにしたもののが提案されている。

## 【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、この雨除けカバーは、複数のゴルフバッグを上方よりすっぽり被せる形態のものであるため、雨除けカバーの装着後は、クラブの出し入れ、さらにはゴルフバッグのポケットからのボールやティなどの小物類の出し入れがやりづらく、迅速なプレイの進行に支障をきたすという問題がある。また、クラブやボールなどの出し入れのために、雨除けカバーをめくり上げたり、被せたりするとき、雨除けカバーの表面に付着した雨水が垂れてゴルフバッグを濡らしたり、雨除けカバーの端部などがゴルフバッグを擦すって傷付けたりするなど、種々の不都合もある。

【0008】この発明は、上記問題に着目してなされたもので、荷台部上に雨除けカバーによりゴルフバッグの収容空間を簡易に組み立てることにより、クラブやボールなどの出し入れが容易であり、またクラブやボールなどの出し入れに際して、ゴルフバッグを雨水で濡らしたり、傷付けたりすることのないゴルフバッグの雨除けカバーおよびその雨除けカバーが用いられたゴルフカートを提供することを目的とする。

## 【0009】

【課題を解決するための手段】この発明は、乗降が可能な座席部とゴルフバッグの積載が可能な荷台部とを有するゴルフカートに用いられるゴルフバッグの雨除け具であって、雨除けカバーと、この雨除けカバーの端部を前記座席部の後部の上方位置に固定するカバー固定部材と、前記荷台部の両側縁の上方に配置される左右のカバー支持腕とから成る。前記雨除けカバーは、左右のカバー支持腕の間隔に相応する幅およびカバー支持腕の長さ

に相応する長さを有する天井シートに、少なくとも、荷台部上の左右両側面を覆う左右の側面シートと、荷台部の後方側を覆う後面シートとが、それぞれ連設されて成る。

【0010】請求項2の発明では、雨除けカバーは、天井シートの上面に左右の側面シートと後面シートとが折り重ね可能に形成されると共に、天井シートと両側面シートと後面シートとが折り重ねられた状態で座席部の側へ巻き取り可能に構成されている。

【0011】請求項3の発明では、左右のカバー支持腕は、前記カバー固定部材に回動可能に支持されている。

【0012】請求項4の発明では、左右のカバー支持腕は、それぞれ支柱部材により支持される。

【0013】請求項5の発明は、乗降が可能な座席部とゴルフバッグの積載が可能な荷台部とを有するゴルフカートであって、請求項1～4のいずれかに記載されたゴルフバックの雨除け具が前記荷台部に設けられて成る。

【0014】

【作用】雨除けカバーを展開すると、天井シートは、両側縁が荷台部の上方で左右のカバー支持腕で支持され、また左右の側面シートおよび後面シートは、下方に垂れ下がる。天井シートにより屋根部分が、側面シートおよび後面シートにより外周壁部分が、それぞれ形成され、これにより荷台上に積載されたゴルフバッグは、雨除けカバーで囲まれた空間内に収容されて雨水から保護される。

【0015】請求項2の雨除け具では、使用に際して、巻き取られた雨除けカバーを引き出し、天井シートに折り重ねられた左右の側面シートと後面シートとを展開する。

【0016】請求項3の雨除け具では、不使用時は左右のカバー支持腕を座席部の後部側へ倒して退避させておく。使用時は、各カバー支持腕を荷台部側へ回動させ、荷台部の両側縁の上方位置に突出させた状態で定位させる。

【0017】請求項4の雨除け具では、左右のカバー支持腕は、それぞれ支柱部材により支持されるので、雨除けカバーの荷重が支持される。

【0018】請求項5のゴルフカートでは、荷台部に請求項1～4のいずれかに記載された雨除け具が設けられるので、荷台部上に積載されたゴルフバッグは雨水から保護されて雨や雪で濡れるおそれがない。

【0019】

【実施例】図1および図2は、この発明の一実施例であるゴルフカートの外観を示す。図示例のゴルフカートは、車体1の内部にバッテリー駆動の駆動機構や動力伝達機構(図示せず)が搭載され、車体1の前後位置には、前記駆動機構や動力伝達機構により駆動される車輪2、2がそれぞれ2個ずつ設けられて成る。車体1の前部は、人の乗降が可能な座席部3であり、座席部3の後

部には、複数のゴルフバッグ5の積載が可能な荷台部4が設けてある。

【0020】前記座席部3は、運転席3Aと後部座席3Bとから成り、運転席3Aには、ハンドル、アクセル、ブレーキなど、運転操作に必要な機構が装備されている。運転席3Aの前面にはフロントパネル6が、上方には屋根板7が、それぞれ設けられる。この座席部3は、左右両側のいずれの方向からも乗降できるよう、両側面が開放されているが、降雨時などに、フロントパネル6の両側部に寄せられた透明ビニール製のカーテン部材9を、屋根板7の両側縁に設けられたレール14に沿って引き出せば、両側面を塞ぐことができる。

【0021】前記荷台部4には、保持部材8が縦設してあり、この保持部材8により複数のゴルフバッグ5を斜めに立て掛けた状態で保持する。

【0022】前記屋根板7は、複数のパイプを縦横に連結して形成された矩形状の屋根枠11上に固定される。この屋根枠11は、前部がフロントパネル6の両側位置に縦設された2本の支柱12、12の上端に、また屋根枠11の後部が後部座席3Bの後部中央に縦設されたY字状の支柱13の上端に、それぞれ連結されて支持される。

【0023】荷台部4上には、この発明の一実施例である雨除け具10が装備されている。図1は、雨除け具10が仕舞い込まれた晴天時または曇時の状態を示すもので、荷台部4は開放されて、ゴルフバッグ5は露出している。図2は、雨除け具10が組み立てられた降雨時または降雪時の状態を示すもので、荷台部4上には雨除けカバー20で囲まれた空間12が形成され、この空間12内に複数のゴルフバッグ5が収容されている。

【0024】前記雨除け具10は、図3および図4に示すように、雨水が浸潤しないビニールのような合成樹脂シートで形成された透明な雨除けカバー20と、この雨除けカバー20の端部を後部座席3Bの後部の上方位置に固定するカバー固定部材21と、雨除けカバー20を荷台部4の両側縁に沿う上方位置で支持する左右のカバー支持腕22、22とを備えている。

【0025】前記雨除けカバー20は、平面形状が矩形の天井シート30の両側縁に帯状シート36を介して左右の側面シート31、32が熱溶着されて一連に連設されると共に、天井シート30の後端縁に後面シート33が、また左右の各側面シート31、32の前端縁に前面シート34、35が、それぞれ直接熱溶着されて一体に連設されている。

【0026】図5は、雨除けカバー20を展開した状態を示す。前記天井シート30は、前側の端縁30Fおよび後側の端縁30Bが左右のカバー支持腕22、22の間に相応する幅w1に、両側の端縁30L、30Rが各カバー支持腕22の長さに相応する長さd1に、それぞれ形成される。

【0027】前記の各側面シート31, 32は、前側の端縁31F, 32Fが荷台部4に対する屋根板7の高さに相応する幅w2に、上側の端縁31U, 32Uが天井シート30の両側の端縁30L, 30Rと同じ長さd1に、下側の端縁31D, 32Dが前記上側の端縁31U, 32Uのほぼ3分の2の長さd2に、後側の縁縁31B, 32Bが前側の端縁31F, 32Fのほぼ3分の1の幅w3に、それぞれ形成されると共に、後側の端縁31B, 32Bと下側の端縁31D, 32Dとの間には斜めの端縁31E, 32Eがそれぞれ形成されている。

【0028】前記後面シート33は、上側の端縁33Uおよび下側の端縁33Dが天井シート30の後側の端縁30Bと同じ幅w1に、両側の各端縁33L, 33Rが左右の側面シート31, 32の後側の端縁31B, 32Bの幅w3と同じ長さd3に、それぞれ形成されている。

【0029】前記の各前面シート34, 35は、外側の端縁34L, 35Rが左右の側面シート31, 32の前側の端縁31F, 31Fの幅w2よりやや短く形成され、内側の端縁34R, 35Lが外側の端縁34L, 35Rの幅w2のほぼ2分の1の幅w4に形成されると共に、外側の端縁34L, 35Rと内側の端縁34R, 35Lとの距離sは天井シート30の前側の端縁30Fの幅w1のほぼ2分の1に形成されている。各前面シート34, 35の上側の端縁34U, 35Uおよび下側の端縁34D, 35Dはそれぞれ斜めに形成されている。

【0030】天井シート30と後面シート33との連設部位、各側面シート31, 32と各前面シート34, 35との連設部位、および後面シート33の下側の端縁33Dには、それぞれ合成樹脂製の小径パイプ37が棒骨として設けられる。同様の小径パイプ37は、天井シート30の裏面にも、透明の帯状シート38より取り付けられている。

【0031】各側面シート31, 32の下側の端縁31D, 32Dの両端部には、ゴム紐39を介してフック40が、また各前面シート34, 35の内側の端縁34R, 35Lには、面ファスナー41, 42が、それぞれ取り付けてあり、雨除け具10を組み立てたとき、各フック40を車体の適所に引っ掛け、面ファスナー41, 42を互いに接合することにより、雨除けカバー20を固定する。なお、図示していないが、雨除けカバー20を折り畳んだとき、折り畳み状態を保持するために、雨除けカバー20を構成する各シートの表裏面の適所に面ファスナーが取り付けてある。

【0032】上記構成の雨除けカバー20は、天井シート30の上面に後面シート33が折り重ねられ、その上に、前面シート34が折り重ねられた一方の側面シート31が折り重ねられ、さらにその上に、前面シート35が折り重ねられた他方の側面シート32が折り重ねられる。このようにして折り畳まれた雨除けカバー20は、

天井シート30の後側の端縁30Bから前方へ巻き取られ、図1および図11に示すように、左右のカバー支持腕22, 22と共に固定バンド45により巻き取り状態で固定される。なお固定バンド45は、一端が天井シート30の前側の端縁30Fの中央に止着固定されている。

【0033】上記の雨除けカバー20は、天井シート30の前側の端縁30Fを固定端縁としてカバー固定部材21により後部座席3Bの後部の上方位置に固定される。このカバー固定部材21は、図6～図8に示すように、断面形状がL型の金属製の上部固定枠50と、この上部固定枠50に天井シート30の前側の端縁30Fをねじ止め固定するための金属製の固定板51と、上部固定枠50を屋根枠11に取り付け固定するための第1, 第2の各取付金具52, 53とで構成されている。

【0034】上部固定枠50および固定板51は、雨除けカバー20の天井シート30とほぼ同じ長さであり、上部固定枠50の水平片50aと固定板51との間に天井シート30の前側の端縁30Fを挟持し、複数箇所を20ボルト、ナットのような止め具54により止着固定する。

【0035】第1, 第2の各取付金具52, 53は、前記したY字状の支柱13の2本の分岐腕13a, 13bの上端部を屋根枠11にそれぞれ連結するのに用いられるもので、各分岐腕13a, 13bの上端部に、第1, 第2の各取付金具52, 53の下端部を前後から挟むようにして当て、一方、屋根枠11に各取付金具52, 53の屈曲した上端部を上下から挟むように当て、各取付金具52, 53の下端部と支柱13の各分岐腕13a, 13bとの間および各取付金具52, 53の上端部と屋根枠11との間を、それぞれボルト、ナットのような止め具55, 56で一体固定している。

【0036】前記上部固定枠50を固定するには、前記止め具55を外した後、上部固定枠50の垂直片50bを第2の取付金具53と支柱13の各分岐腕13a, 13bとの隙間に挿入した後、各取付金具52, 53の下端部と各分岐腕13a, 13bと上部固定枠50の垂直片50bとを止め具55で一体に固定する。

【0037】上部固定枠50の水平片50aの両端部の40下面には、図8に示すように、前記した左右のカバー支持腕22, 22の基端が枢軸60により枢支されており、これにより各カバー支持腕22, 22は、前側へ傾斜する水平面内で回動可能となっている。

【0038】各カバー支持腕22は、金属パイプで形成され、先端部には合成樹脂製のキャップ61が被せてある。雨除け具10を仕舞い込むとき、各カバー支持腕22は、上部固定枠50の水平片50aの下面に沿う位置に退避させる。雨除け具10を組み立てるときは、各カバー支持腕22を退避位置から後方側へ90度回動させ、荷台部4の両側縁に沿う上方位置に突出させる。各

カバー支持腕22は、基端部に対して先端側が低くなるように斜め下方へ傾くが、各カバー支持腕22の先端部は、荷台部4に積載されたゴルフバッグ5の上端位置より十分に高い位置にある。

【0039】前記上部固定枠50の水平片50aの両端には、下方へ屈曲する規制片62がそれぞれ一体形成されている。各カバー支持腕22は、前記退避位置から90度回動させたとき、前記規制片62に突き当たって回動が規制され、荷台部4の両側縁に沿う上方位置に位置決めされる。

【0040】各カバー支持腕22のほぼ長さ中央部には、カバー支持腕22と同じ金属パイプより成る支柱部材63の上端がそれぞれ一体に連設されている。各支柱部材63は、各カバー支持腕22に対して適当な傾斜角度をもち、下端部近くで垂直下方へ屈曲している。各支柱部材63の下端部は、左右の金属製の下部固定枠70、70に回動自由に支持される。

【0041】各下部固定枠70は、図8～図10に示すように、断面形状がL型であり、内端部の端面には端板71を備え、外端部の外面には、各支柱部材63の下端を回動自由に軸支する軸受板72が一体形成されている。各下部固定枠70は、後部座席3Bに設けられた左右の背凭れ部80、80に固定される。各背凭れ部80は、背当て81と、背当て81を支持する支え棒82と、座席側部の手摺棒84を前記支え棒82の側へ屈曲して形成された背当棒83とで構成される。前記背当棒83の先端部は前記支え棒82の周面に突き当たられ、ねじ85で止着される。左右の各下部固定枠70は、左右の背凭れ部80の背当棒83上にそれぞれ被せられ、端板71を背当棒83の先端面と支え棒82との間に位置させて三者をねじ85で一体固定する。

【0042】なお、上記の実施例では、雨除け具10を既成のゴルフカートに装備できるよう、ゴルフカートの各部の機構を雨除け具10の取付に流用しているが、雨除け具10のゴルフカートへの取付構造は、上記実施例のものに限られないことはいうまでもない。また上記の実施例において、雨除けカバー20の前面シート34、35やカバー支持腕22の支柱部材63は、必ずしも、この発明の目的を達成する上で不可欠な構成要素ではないが、前面シート34、35を設けることにより雨除けカバー20をしっかりと固定でき、また支柱部材63を設けることにより、カバー支持腕22の耐荷重性を向上できる。

【0043】さらに上記実施例では、各カバー支持腕22を後部座席3Bの後部の上方位置に水平姿勢で退避させておき、使用に際して、各カバー支持腕22をほぼ水平面内で回動させて荷台部4の上方の両側位置へ突出させるよう構成しているが、これに限らず、例えば、各カバー支持腕22を後部座席3Bの後部の上方両側位置に基端部を枢支して垂直姿勢で退避させておき、使用に際

して、手操作またはバネ力を利用するなどして垂直面内で回動させて荷台部4の上方の両側位置へ突出させるよう構成してもよく、また各カバー支持腕22を屋根板7の下方の両側位置に引っ込んだ状態で退避させておき、使用に際して、手操作で各カバー支持腕22を後方へ直に引き出して荷台部4の上方の両側位置へ突出させるよう構成してもよい。

【0044】上記した構成のゴルフカートにおいて、晴天時または曇時は、図1に示すように、雨除け具10は仕舞い込まれた状態にある。雨除けカバー20は折り畳まれて上部固定枠50上に巻き取られ、左右のカバー支持腕22、22は上部固定枠50の下方に退避しており、巻き取られた雨除けカバー20と左右の各カバー支持腕22、22とは固定バンド45で一体に結合されている。固定バンド45は図11に示すように、2周巻かれており、一周目で雨除けカバー20のみを結合し、二周目で左右のカバー支持腕22、22を雨除けカバー20に一体に結合する。

【0045】降雨時または降雪時は、まず固定バンド45の二周目の結合を解き、左右のカバー支持腕22を上部固定枠50の規制片62に当たるまで回動させ、荷台部4の両側縁に沿う上方位置に突出させる。図12には、各カバー支持腕22を突出させた状態が示してある。

【0046】つぎに固定バンド45の1周目の結合を解き、折り畳まれた状態で巻き取られた雨除けカバー22を引き出し、天井シート30を各カバー支持腕22、22上に張設する。その後、左右の側面シート31、32、後面シート33、および左右の前面シート34、35を展開し、左右の前面シート34、35を面ファスナ41、42により連接し、各所のフック40を車体1の適所に引っ掛ける。

【0047】以上で組立作業が完了し、荷台部4の上方に天井シート30が位置し、側面シート31、32および後面シート33が下方に垂れ下がり、天井シート30により屋根部分が、側面シート31、32により外周壁部分が、それぞれ形成される。これにより荷台部4上に空間12が形成され、この空間12内に複数のゴルフバッグ5が余裕のある状態で収容される。

【0048】プレイ中において、各プレイヤーは、後面シート33を上方へめくり上げるようにして後方を開放し、ゴルフバッグ5に対するクラブやボールなどの出し入れを行う。この場合、後面シート33の開閉操作で簡単にクラブやボールなどの出し入れが行えるので、迅速なプレイの進行が妨げられることはない。またゴルフバッグ5は、天井シート30および側面シート31、32により降雨や降雪から保護されているので、クラブやボールなどの出し入れ時にゴルフバッグ5が雨水に漏れるおそれがない。またゴルフバッグ5は雨除けカバー20と非接触の状態にあるから、雨除けカバー20によりゴ

ルバッグが擦られることもない。

【0049】

【発明の効果】この発明は上記の如く、左右のカバー支持腕により雨除けカバーを支持した状態で雨除けカバーの内側にゴルフバッグの収容空間を形成するから、ゴルフバッグに対するクラブ、ボール、ティなどの小物類の出し入れが容易であり、クラブやボールなどの出し入れに際して、ゴルフバッグを濡らしたり、傷付けたりすることがない。

【0050】請求項2の発明では、雨除けカバーの天井シートに左右の側面シートと後面シートとを折り重ねて座席部の側へ巻き取るようにしたから、雨除けカバーの組立や仕舞い込みが容易であり、その作業に手数を要しない。

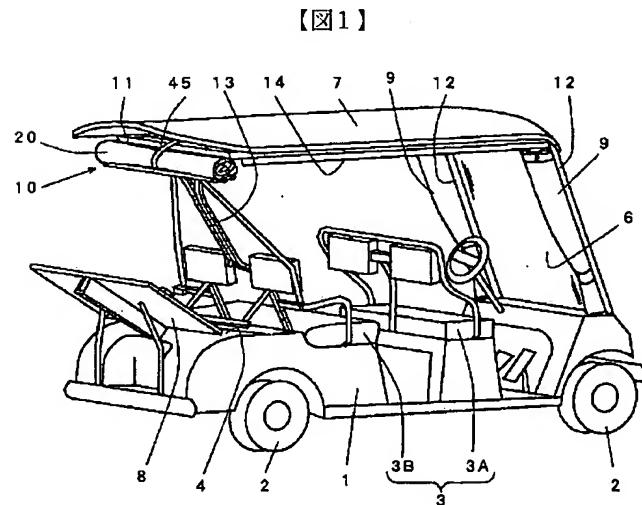
【0051】請求項3の発明では、左右のカバー支持腕を回動可能に形成したから、各カバー支持腕の組立や仕舞い込みが容易である。

【0052】請求項4の発明では、左右のカバー支持腕を支柱部材でそれぞれ支持するから、カバー支持腕の耐荷重性を増すことができる。

【0053】請求項5の発明では、荷台上に請求項1～4のいずれかに記載された雨除け具が設けたから、荷台部上に積載されたゴルフバッグを雨水から保護でき、雨や雪で濡れるおそれがない。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の雨除け具を仕舞い込んだ状態のゴルフカートの外観を示す斜視図である。



10

【図2】この発明の雨除け具を組み立てた状態のゴルフカートの外観を示す斜視図である。

【図3】雨除け具を後側から見た斜視図である。

【図4】雨除け具を前側から見た斜視図である。

【図5】雨除けカバーを展開して示す平面図である。

【図6】カバー固定部材の構成を示す側面図である。

【図7】カバー固定部材の構成を示す背面図である。

【図8】カバー支持腕および支柱部材の連結構造を示す斜視図である。

10 【図9】支柱部材の連結構造を示す斜視図である。

【図10】支柱部材の連結構造を示す正面図である。

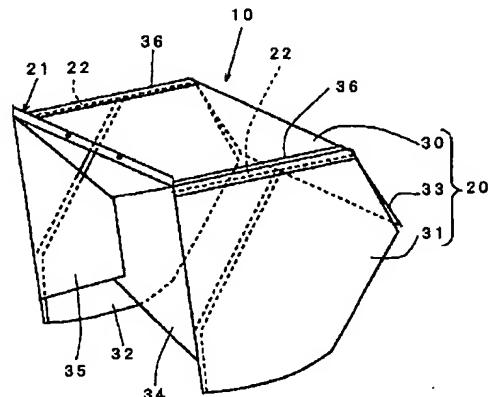
【図11】雨除けカバーが巻き取られた状態を示す側面図である。

【図12】カバー支持腕を伸ばした状態を示す斜視図である。

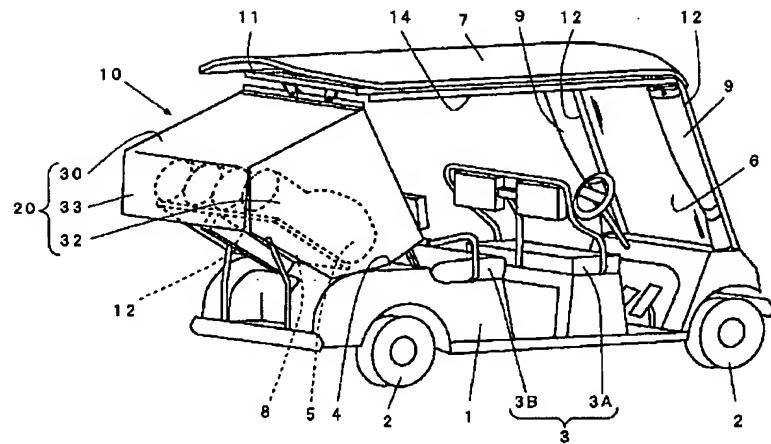
【符号の説明】

- 3 座席部
- 4 荷台部
- 10 雨除け具
- 20 雨除けカバー
- 21 カバー固定部材
- 22 カバー支持腕
- 30 天井シート
- 31, 32 側面シート
- 33 後面シート
- 63 支柱部材

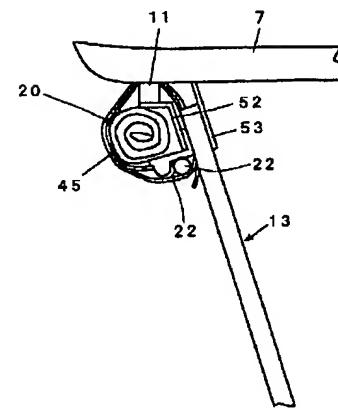
【図4】



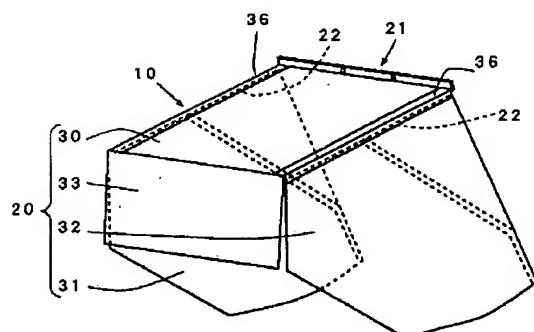
【図2】



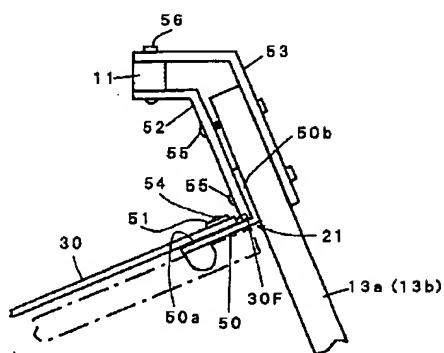
【図11】



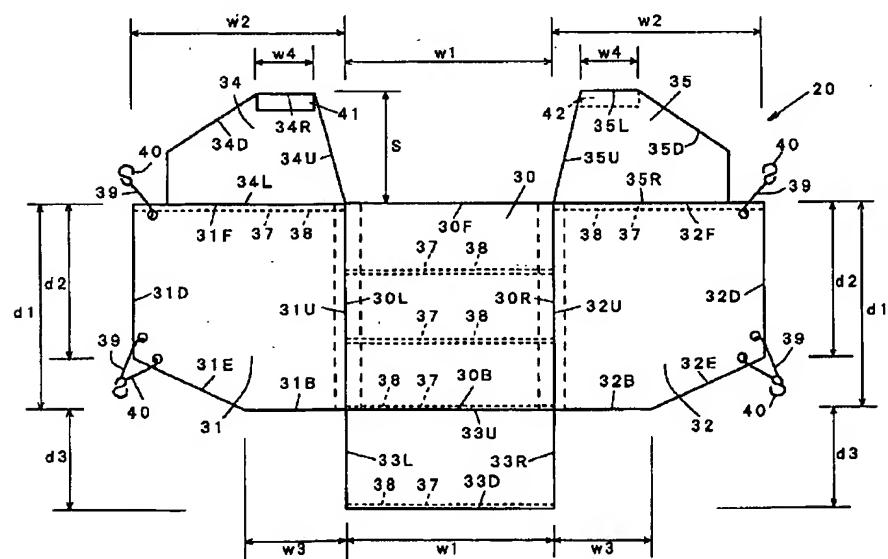
【図3】



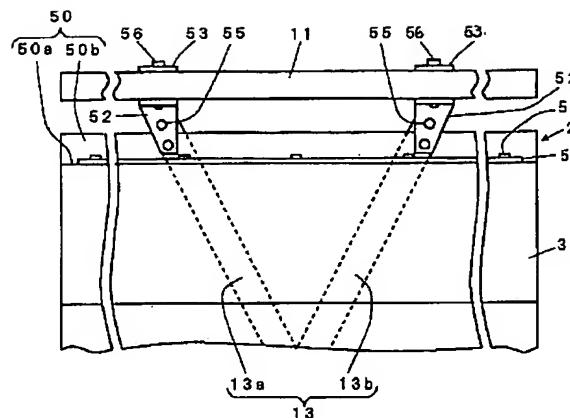
【図6】



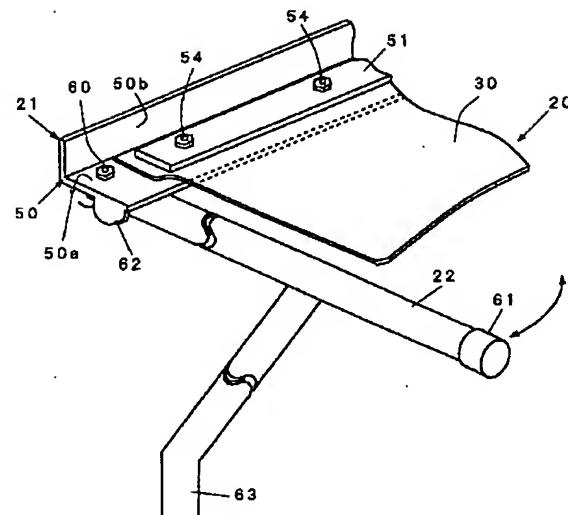
【図5】



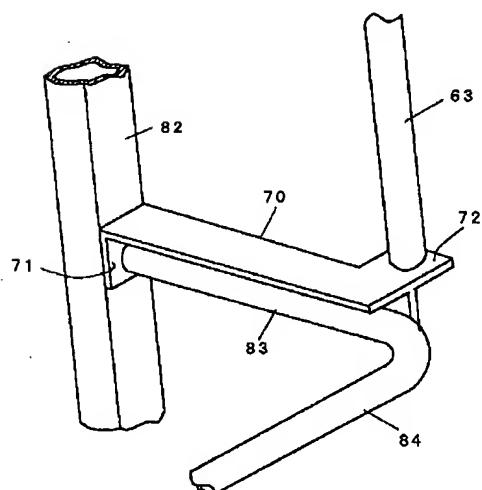
【図7】



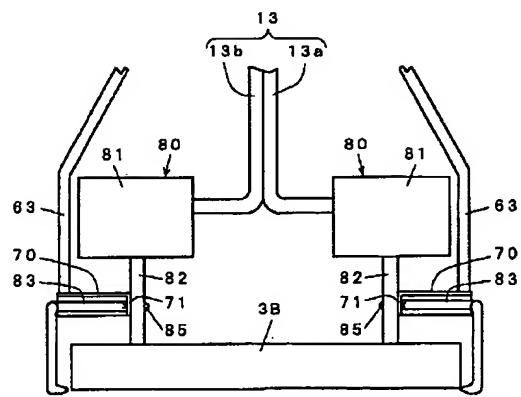
【図8】



【図9】



### 【図10】



【図12】

